赤穂市立坂越中学校　　　　　　　　　　　　　　　　　　第　９　号

きらり

私たちは「きらり」と輝くんや　　　　　平成２１年９月１５日（火）　山根

いま、しなければ

　体育祭、感動を与えてくれて有り難う。
「目標に向かって、力をあわせ、やり遂げる」すばらしさを十分に発揮してくれました。
　皆さんは基本的に「やればできる」という「力」を体の中にしっかりもっています。自信をもって下さい。
　次は、その力を教科の学習に生かすのです。
特に３年生は受験生です。その３年生に一言。
　しかしながら、二学期は学校行事が多い。そのため、なかなか家へ早く帰れない日もあったりします。
　中学時代は、勉強だけしていればイイという時代ではありません。「勉強、部活動」「みんなと力を合わせる、体育祭、文化祭、合唱コンクール」等の準備、練習など、受験の真っ只中にあっても、こういうことをおろそかにしてはいけません。
　つまり、学校の勉強と受験勉強とを両立させることがいいのです。
「自分さえ良ければ」「そんな面倒なこといやや」「やりたい人だけ勝手にやれば」という人が世間にはいます。しかし、みなさんは違います。今年度の体育祭で、「ムカデ競争、長縄とび」で代表されるように、みんなと一緒に力を合わせ、大会記録も出るなど、しっかりとやり遂げることができました。そして、その中で、目に見えない大切なものを獲得しました。これが大切なんです。

「基礎に戻る勉強」のすすめ
　帰宅後、夕飯を食べるまでに、「基礎問題」を解いていくのも、時間の有効活用ではありませんか。
　要点整理は夏休みにできている人が多いと思います。要点整理を見ることなく、「基礎問題」をやっていくのです。もし間違ったら、要点整理で再確認していくのです。そして、もう一度覚え込んでいきます。勿論、解答の解説集を参考にして、弱点の克服もします。**問題を解くときは「ノート」がいいと思います。テキストに書くと、もう一度使うときに使いにくいです。その問題の余白に何回、そこを解いたか日付をつけ記入するのもイイですね。**「基礎問題」が出来れば、今度は「基本問題」を解くのです。勿論何も参考にしないで、解いていくのです。わからなければ解答解説集をみて解くのです。ただし、その後は何もみないで解いていくのです。勿論**解けるまで繰り返しするのです。**
　ところが、「もうできるから」「こんなの簡単だから」と言って、「基礎問題」「基本問題」を全然解かない人もいます。それは「おごり」だと思います。その油断が命取りになったりもするのです。
　基礎を馬鹿にして応用問題ばかり解きたがる人はいつの間にか基礎レベルの問題が解けなくなることがあります。**「応用問題」も実は基礎の組み合わせでできているのですから。**
だから**「基礎に戻る勉強」が一番大切なんです。**
１・２年生もこれは共通した考えです。　　　　　　　坂中生　がんばれよ！